

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 生活と法		担当教員 氏名: 後藤 亜季				
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 前期	専門科目	講義	選択	介護福祉士国家試験受験資格(選択) 社会福祉士主任任用資格	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
無人島で誰ともかわからずに生きない限り、私たちは必ず、いずれかの社会に属して生活することになる。社会にはルールが存在するが、その中でも特に重要となるルールが法律である。講義では、社会人としてまた介護専門職に就く者として知るべき社会のルールである法律、特に憲法(人権)、生活上重要な民法について理解し、具体的事例について検討する。					法律、人権、自己決定権、生活、契約、判断能力、介護福祉	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短縮マトリックスで示される番号)		2. 5. 8. 10	
A 知識・理解力		社会生活上必要な法的知識の獲得と理解ができる				
C 論理的思考力		法的な考え方(リーガル・マインド)の習得ができる				
D 問題解決力		社会生活上生じる様々な法的問題を解決するために、獲得した法的知識やリーガル・マインドを用いることができる				
E 自己管理力		法的知識やリーガルマインドの活用により、社会生活上生じる様々な紛争を回避することができる				
G 倫理観		人権や権利擁護に対する正しい理解を得、介護に関する学習や実習、将来に活かすことができる				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: 0 %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項: 授業中の発言は発言点となる。発言点は、テストで獲得した点数に加算され、合計点で成績評価を行うこととする。なお、授業計画は進捗や履修者の興味関心に応じて変更することがある。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習、ディスカッション、デベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間レポートを課す。また、最終試験は別に定める日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点して返却する。レポートは解説を行い、試験については模範解答を配布する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①ガイダンス: 授業や評価について理解する 法学概論Ⅰ: 国家や法律はなぜあるかを考え、理解する			{予習}自分の身の回りにある・見開きた法律的事件を確認する {復習}国家や法律がどのような役割を果たすのかをまとめる	{予習}120分 {復習}120分		
②法学概論Ⅱ 法律の種類を理解する 具体的な紛争をどのように解決するか考える			{予習}法律の種類を調べる。紛争はどのように解決されているのか調べる {復習}民法と法律の違いを確認する	{予習}120分 {復習}120分		
③法学概論Ⅲ 具体的な紛争が法律によってどのように解決されるかを理解する 法律の機能、特徴を理解する			{予習}見開きた紛争の法的な解決方法を考える。調べる	{予習}240分		
④憲法概論Ⅰ 憲法とはどのような法律か—現代的憲法の成立と人権を中心に理解する			{予習}市民革命について学んでくる {復習}市民革命から現代的憲法の成立までをまとめる	{予習}120分 {復習}120分		
⑤憲法概論Ⅱ 人権総論 人権規定について大まかに理解する。個人の尊重の意味を考え、理解する			{復習}憲法において人権規定がどのような意味を持つのか、13、14条と15条以下の人権規定の関係をまとめる	{復習}240分		
⑥憲法概論Ⅲ 人権と私たちの生活1 自己決定権について考え、理解する			{予習}自己決定権について学んでくる {復習}自己決定権についてまとめる	{予習}120分 {復習}120分		
⑦憲法概論Ⅳ 人権と私たちの生活2 自己決定権に関わる現代的課題について考える			{予習}自己決定権に関する現代的な課題を考えてくる {復習}授業で扱った内容の他にどのような現代的課題があるか調べてまとめる	{予習}120分 {復習}120分		
⑧民法概論Ⅰ 民法とはどのような法律かを理解する			{復習}民法が日々の生活にどのように関係しているのか考えながら生活し、気が付いたことをまとめる	{復習}240分		
⑨民法概論Ⅱ 自分らしい生活に契約が欠かせないこと、契約の成立について理解する			{復習}契約の成立や日々の生活の中で行う契約についてまとめ、気が付いたことをメモしておく	{復習}240分		
⑩民法概論Ⅲ 意思表示および判断能力について理解する			{復習}契約と関連付けて意思表示や判断能力についてまとめる	{復習}240分		
⑪民法総論Ⅳ 成年後見制度を理解し、具体的事例を検討する			{復習}成年後見制度についてまとめ、具体的事例における適用場面を検討する	{復習}240分		
⑫民法総論Ⅴ 成年後見制度の利用実態や課題を理解する			{予習}介護現場における成年後見制度の問題を考えてくる {復習}成年後見制度利用促進に向けた動きを調べ、自分が現場で何が出来るかを考えてまとめる	{予習}120分 {復習}120分		
⑬民法総論Ⅵ 家族扶養を理解する			{復習}家族による扶養や介護、社会保障についてまとめ、課題に対して検討する	{復習}240分		
⑭レポート解説			{復習}返却されたレポートを確認し、習得できていない部分をささう	{復習}240分		
⑮まとめ			{予習}これまでの内容を復習して	{予習}240分		
使用テキスト: 福祉小六法(既に購入しているものを利用してください。新しく買う必要はありません)			その他参考文献など: ・高校生からの法学入門(中央大学法学部) ・伊藤真の法学入門 講義再現版(日本評論社)			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 配布したレジュメに従って授業を行います(社会福祉六法は適宜利用します)。法律は難しいと思っているかもしれませんが、次の点でこの授業は皆さんにとって役に立つと思います。社会のルールである法律の習得は、①社会人となる皆さんにとって必要であること、②多様な人々が暮らす社会においてその多様性を認めた上で、利用者さん本人の意思を尊重した適切な介護を行う専門家として活躍する際に、とりわけ大切な行動指針を与えてくれること、③現代の社会的な問題や、日々において直面する問題の本質を理解したり、解決する力を養うことができること。具体的な事例を用いて、皆さんに参加していただきながら、できるだけわかりやすく、楽しく授業を進めていきます。是非意欲的に参加してください。なお、受講者の希望に合わせて内容を変更することがあります。						